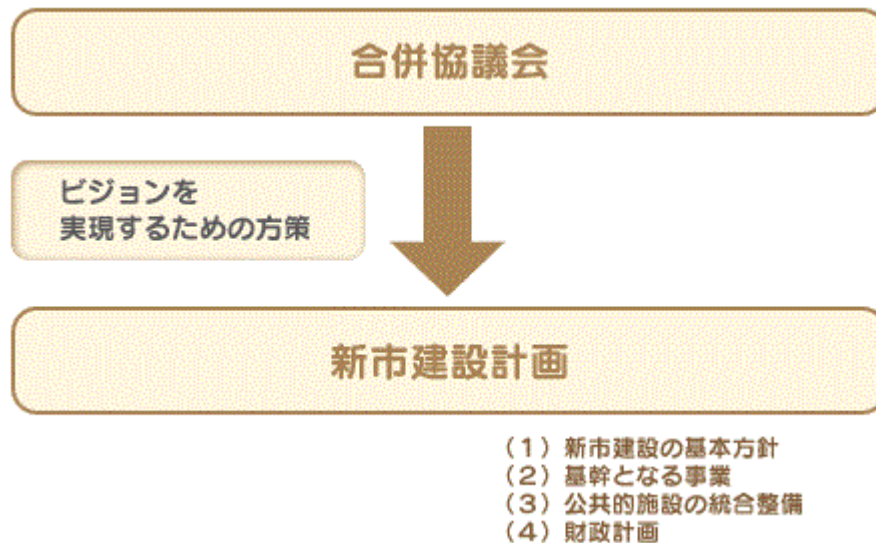


## 新市建設計画について

令和元年7月19日

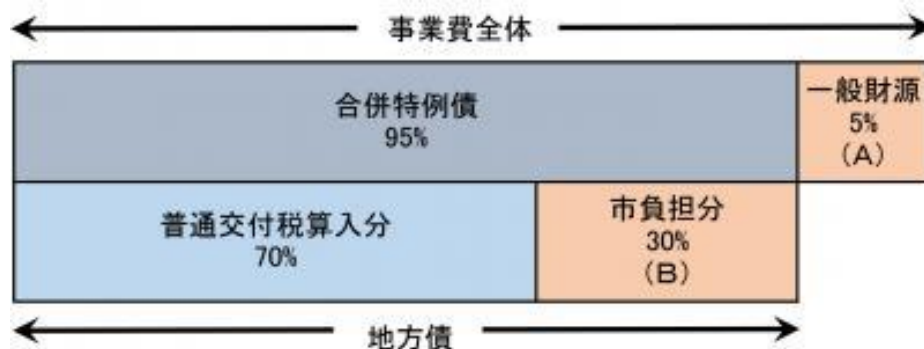
### 1 新市建設計画とは

新市建設計画は、市町村の合併の特例に関する法律（合併特例法）に基づき、合併する市町村が新しい市になって将来どのようなまちづくりを目指していくのか、その方向性を合併前に策定する計画です。西条市においても平成16年11月の新市発足にあたって策定しています。



### 2 なぜ新市建設計画を再改定する必要があるのか

新市建設計画に盛り込まれた事業については、合併特例債という有利な条件の地方債を活用することが可能となります。西条市では約440億円が限度額として割り当てられています。



※ 実質的な市の負担は (A) + (B) です

新市建設計画は、当初合併特例債の適用期間である合併後10か年を期間として策定していましたが、国が合併特例債の適用期間を延長したことに伴い、本市においても議会の議決を経て平成26年12月に5か年の延長を行いました。

このたび、国が合併特例債の適用期間を再延長したことに伴い、本市においても令和6年度までを計画期間として再改定することとし、手続きを開始いたします。